

西武新宿線野方駅南北自由通路及び駅舎整備に係る検討状況について

事業の目的

本事業は野方駅の南北通行を円滑にするとともに、施設全体のバリアフリーを目的に実施するものである。

1. 検討状況

- (1) 西武新宿線野方駅北口開設については、これまで北口周辺道路整備を含めた基礎調査を行い、南北自由通路整備と駅舎の橋上化を主軸とした整備概要をとりまとめ、平成 18 年 7 月、9 月に地域及び商店会に説明を行った。
- (2) これまで、西武鉄道や東京都と事業手法について協議を行い、都市側事業と鉄道側事業との同時施行による駅まち一体改善事業により実施することで一定の合意を得た。
- (3) 中野区、西武鉄道とも当該事業を前提として、各々国費要望を行い、平成 18 年 12 月に国土交通省より要望額どおりの 19 年度予算の内示が発表された。
- (4) 北口開設に係る測量調査及び南北自由通路の概略設計などを目的とする、調査設計を委託により行っているところである。

2. 事業の進め方

- (1) 調査設計に基づき自由通路と橋上駅舎との調整や、南口階段の位置及び広場機能の概略について調整を行う。
- (2) 整備内容の検討にあたっては、地域住民に説明を行い意向確認するとともに理解と協力を得ながら進めていく。
- (3) 広場の機能など、一定の整理がついた段階で基本協定及び第三セクターを設立する。

3. 整備概要

- ・ 自由通路(区事業)の整備概要は、南北階段、エレベーター・エスカレーター南北各 1 基、橋上通路、南北広場、北口関連道路整備
- ・ 駅舎(第三セクター事業)整備概要は、橋上駅舎、駅務室、多機能トイレ、エレベーター 1 基、エスカレーター 2 基

4. 事業スケジュール

平成 18 年度 基本協定締結、第三セクター設立
平成 19 年度 北口周辺道路整備、自由通路・駅舎実施設計、施行協定
平成 20 年度 自由通路・駅舎工事着手
平成 21 年度 管理協定締結、自由通路・駅舎工事完了 開設